

四半期報告書

(第34期第3四半期)

新日鉄住金ソリューションズ株式会社

四 半 期 報 告 書

- 1 本書は四半期報告書を金融商品取引法第27条の30の2に規定する開示用電子情報処理組織(EDINET)を使用し提出したデータに目次及び頁を付して出力・印刷したものであります。
- 2 本書には、上記の方法により提出した四半期報告書に添付された四半期レビュー報告書及び上記の四半期報告書と同時に提出した確認書を末尾に綴じ込んでおります。

目 次

	頁
【表紙】	1
第一部 【企業情報】	2
第1 【企業の概況】	2
1 【主要な経営指標等の推移】	2
2 【事業の内容】	2
第2 【事業の状況】	3
1 【事業等のリスク】	3
2 【経営上の重要な契約等】	3
3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】	3
第3 【提出会社の状況】	5
1 【株式等の状況】	5
2 【役員の状況】	7
第4 【経理の状況】	8
1 【四半期連結財務諸表】	9
2 【その他】	15
第二部 【提出会社の保証会社等の情報】	16

四半期レビュー報告書

確認書

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成26年2月10日

【四半期会計期間】 第34期第3四半期(自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日)

【会社名】 新日鉄住金ソリューションズ株式会社

【英訳名】 NS Solutions Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 謝 敷 宗 敬

【本店の所在の場所】 東京都中央区新川二丁目20番15号

【電話番号】 03-5117-4111 (代表)

【事務連絡者氏名】 総務部長 高 原 正 之

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区新川二丁目20番15号

【電話番号】 03-5117-4111 (代表)

【事務連絡者氏名】 総務部長 高 原 正 之

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第33期 第3四半期 連結累計期間	第34期 第3四半期 連結累計期間	第33期
会計期間	自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日	自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高 (百万円)	121,283	121,747	172,005
経常利益 (百万円)	7,993	7,210	11,626
四半期(当期)純利益 (百万円)	4,468	3,938	6,592
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	4,748	4,289	7,117
純資産額 (百万円)	93,202	97,628	95,571
総資産額 (百万円)	137,085	146,144	145,121
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	84.31	74.32	124.40
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	65.6	64.4	63.6

回次	第33期 第3四半期 連結会計期間	第34期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日	自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	24.51	27.55

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

なお、当第3四半期連結会計期間に「PALSYS Software Co., Ltd.」の全株式を取得し、連結子会社としました。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、個人消費や設備投資が持ち直し、生産活動が活発になるなど、景気の緩やかな回復傾向が見られました。

情報サービス業界においては、顧客企業におけるシステム投資が増加しつつあり、緩やかな改善傾向が見られました。

当第3四半期連結累計期間は、昨年4月に設置した営業統括本部のもとアカウント戦略及びソリューション戦略を全社横断で強力に推進し、営業力の強化を図ってきました。

サービスビジネスの強化・拡大に関しては、セキュアなデータセンターに、クラウド基盤「absonne（アブソヌ）」を中核とする顧客IT環境を構築し、インフラ運用サービスをワンストップで提供するアウトソーシングサービス「NSFITOS（エヌエスフィツス）」の事業展開を本格化させています。

グローバル対応に関しては、タイにおいて現地のシステム開発会社PALSYS Software Co., Ltd.（以下PALSYS社）の全株式を取得し、子会社化しました。平成26年の早い時期にPALSYS社を既に事業展開している当社子会社Thai NS Solutions Co., Ltd.に統合します。当社グループの営業力及び技術力に加え、PALSYS社のシステム開発実行力を融合することでタイ事業拡大を加速します。

新日鐵住金㈱のシステムに関する業務体制の変更への対応については、昨年10月、現在新日鐵住金㈱が日本アイ・ビー・エム㈱に委託し、アイエス情報システム㈱が実行している旧住友金属工業㈱の本社・各製鉄所におけるシステム業務を平成26年度から当社が順次受託し、平成29年4月1日（目途）以降、新日鐵住金㈱のすべてのシステム業務を受託することに合意しました。本年1月には、鉄鋼ソリューション事業部内に「統合推進本部」を設置し、旧住友金属工業㈱の本社・各製鉄所に設置するシステムセンター等におけるアイエス情報システム㈱の業務移管や従業員受け入れ等に関する総合調整を行うとともに、アイエス情報システム㈱との統合に向けた諸施策を企画・推進します。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、121,747百万円と前年同期（121,283百万円）と比べ463百万円の増収となりました。経常利益は、売上総利益が増収及び利益率の改善により増益となったものの、販売費及び一般管理費の増加等により、7,210百万円と前年同期（7,993百万円）と比べ782百万円の減益となりました。

(2) 財政状態の分析

①貸借対照表

1) 資産の部

当第3四半期連結会計期間末の資産の部は、前連結会計年度末145,121百万円から1,022百万円増加し、146,144百万円となりました。主な内訳は、預け金の増加6,923百万円、仕掛品の増加6,580百万円、有形固定資産の増加761百万円、受取手形及び売掛金の減少△12,090百万円、現金及び預金の減少△1,552百万円であります。

2) 負債の部

当第3四半期連結会計期間末の負債の部は、前連結会計年度末49,550百万円から1,034百万円減少し、48,516百万円となりました。主な内訳は、支払手形及び買掛金の減少△3,119百万円、賞与引当金の減少△2,835百万円、前受金の増加2,950百万円、退職給付引当金の増加720百万円であります。

3) 純資産の部

当第3四半期連結会計期間末の純資産の部は、前連結会計年度末95,571百万円から2,056百万円増加し、97,628百万円となりました。主な内訳は、四半期純利益3,938百万円、配当金△2,119百万円であります。その結果、自己資本比率は64.4%となります。

②資金調達

1) 金融機関等からの借入可能枠

当社は、大手各行に対し計4,800百万円の当座借越枠を保有しております。また、親会社である新日鐵住金㈱に対し2,400百万円の当座借越枠があり、合計7,200百万円の当座借越枠を保有しております。

2) キャッシュマネジメントシステム(CMS)

当社は、上記新日鐵住金㈱のCMSを利用しており、当第3四半期連結会計期間末は29,756百万円を預け入れております。

(3) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間における研究開発費の総額は1,037百万円であります。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	211,996,000
計	211,996,000

② 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成26年2月10日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	52,999,120	52,999,120	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は、100株で あります。
計	52,999,120	52,999,120	—	—

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成25年12月31日	—	52,999,120	—	12,952	—	9,950

(注)当第3四半期会計期間における発行済株式総数、資本金及び資本準備金の増減はありません。

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

平成25年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,600	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 52,994,100	529,941	—
単元未満株式	普通株式 3,420	—	—
発行済株式総数	52,999,120	—	—
総株主の議決権	—	529,941	—

(注)「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式100株(議決権1個)が含まれております。

② 【自己株式等】

平成25年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 新日鉄住金ソリューションズ(株)	東京都中央区新川二丁目 20番15号	1,600	—	1,600	0.00
計	—	1,600	—	1,600	0.00

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までの役員の異動は、次のとおりであります。

(退任役員)

役名	職名	氏名	退任年月日
取締役	金融ソリューション部門担当、 金融ソリューション事業本部長、 技術本部副本部長委嘱	村上 英彦	平成25年9月30日 (辞任による退任)

(役職の異動)

新役名	新職名	旧役名	旧職名	氏名	異動年月日
取締役	金融ソリューション部門、 技術本部、エンベデッド・ ユビキタスシステムセンタ ー、スマートデバイスソリ ューションセンター担当、 金融ソリューション事業本 部長、技術本部長、クラウ ドサービスビジネス推進セ ンター所長委嘱	取締役	技術本部、エンベデッド・ ユビキタスシステムセンタ ー、スマートデバイスソリ ューションセンター担当、 技術本部長、クラウドサー ビスビジネス推進センター 所長委嘱	宮辺 裕	平成25年10月1日

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,321	1,769
預け金	22,832	29,756
受取手形及び売掛金	39,041	26,951
有価証券	7,999	8,000
仕掛品	12,673	19,253
原材料及び貯蔵品	321	307
1年内回収予定の関係会社長期貸付金	—	12,000
その他	4,167	4,107
貸倒引当金	△32	△21
流動資産合計	90,324	102,123
固定資産		
有形固定資産	20,760	21,522
無形固定資産		
のれん	2,517	2,393
その他	1,442	1,668
無形固定資産合計	3,959	4,061
投資その他の資産		
関係会社長期貸付金	12,000	—
その他	18,163	18,515
貸倒引当金	△86	△79
投資その他の資産合計	30,077	18,436
固定資産合計	54,797	44,020
資産合計	145,121	146,144
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,891	9,772
未払法人税等	1,974	924
前受金	8,258	11,209
賞与引当金	5,796	2,960
その他の引当金	459	837
その他	4,941	5,770
流動負債合計	34,321	31,475
固定負債		
退職給付引当金	14,396	15,116
役員退職慰労引当金	185	157
その他	646	1,766
固定負債合計	15,228	17,040
負債合計	49,550	48,516

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,952	12,952
資本剰余金	9,950	9,950
利益剰余金	70,544	72,363
自己株式	△4	△4
株主資本合計	93,443	95,262
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	72	151
土地再評価差額金	△1,276	△1,276
為替換算調整勘定	△3	28
その他の包括利益累計額合計	△1,208	△1,097
少数株主持分	3,335	3,463
純資産合計	95,571	97,628
負債純資産合計	145,121	146,144

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
 【四半期連結損益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	121,283	121,747
売上原価	※1 98,910	※1 98,562
売上総利益	22,373	23,184
販売費及び一般管理費	※1 14,736	※1 16,235
営業利益	7,636	6,949
営業外収益		
受取利息	182	197
受取配当金	135	137
投資有価証券売却益	97	22
その他	12	27
営業外収益合計	428	385
営業外費用		
支払利息	21	92
持分法による投資損失	0	15
固定資産除却損	20	10
その他	29	4
営業外費用合計	71	123
経常利益	7,993	7,210
税金等調整前四半期純利益	7,993	7,210
法人税等	3,261	3,037
少数株主損益調整前四半期純利益	4,732	4,173
少数株主利益	264	234
四半期純利益	4,468	3,938

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,732	4,173
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16	78
為替換算調整勘定	0	36
その他の包括利益合計	16	115
四半期包括利益	4,748	4,289
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,484	4,049
少数株主に係る四半期包括利益	264	239

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第3四半期連結会計期間より、新たに株式を取得した「PALSYS Software Co., Ltd.」を連結の範囲に含めております。

(会計方針の変更等)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	
税金費用の計算	
当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。	

(四半期連結貸借対照表関係)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※1 一般管理費及び当期製造費用に含まれる研究開発費は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
	1,048百万円	1,037百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
減価償却費	2,314百万円	2,695百万円
のれん償却額	123百万円	125百万円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月15日 取締役会	普通株式	1,059	20.00	平成24年 3月31日	平成24年 6月1日	利益剰余金
平成24年10月26日 取締役会	普通株式	1,059	20.00	平成24年 9月30日	平成24年 12月4日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月14日 取締役会	普通株式	1,059	20.00	平成25年 3月31日	平成25年 6月3日	利益剰余金
平成25年10月29日 取締役会	普通株式	1,059	20.00	平成25年 9月30日	平成25年 12月3日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社及び当社グループは情報サービス単一事業のため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	84円31銭	74円32銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	4,468	3,938
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	4,468	3,938
普通株式の期中平均株式数(株)	52,997,574	52,997,533

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

第34期第2四半期末日（平成25年9月30日）を基準日とする剰余金の配当については、平成25年10月29日開催の取締役会において、次のとおり配当を行うことを決議いたしました。

- | | |
|----------------------|------------|
| ① 配当金の総額 | 1,059百万円 |
| ② 1株当たりの金額 | 20円00銭 |
| ③ 支払請求権の効力発生日及び支払開始日 | 平成25年12月3日 |

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年2月7日

新日鉄住金ソリューションズ株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 柳 澤 秀 樹

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 俵 洋 志

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 山 田 尚 宏

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている新日鉄住金ソリューションズ株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、新日鉄住金ソリューションズ株式会社及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

【表紙】

【提出書類】 確認書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の8第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成26年2月10日

【会社名】 新日鉄住金ソリューションズ株式会社

【英訳名】 NS Solutions Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 謝 敷 宗 敬

【最高財務責任者の役職氏名】 ー

【本店の所在の場所】 東京都中央区新川二丁目20番15号

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役社長謝敷宗敬は、当社の第34期第3四半期(自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日)の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認いたしました。

2 【特記事項】

確認に当たり、特記すべき事項はありません。